



【CDDP+CPT11療法について】 (シスプラチン+イリノテカン)



ID:

様

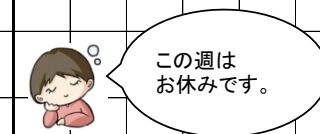
1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前		作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目																					
アロカリス注 パロノセトロン注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																																																			
デキサート注																																																					
パロノセトロン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																																																			
イリノテカン注	抗がん剤	1時間30分																																																			
硫酸Mg注	副作用予防	1時間30分																																																			
マンニトール注	利尿剤	1時間30分																																																			
シスプラチン注	抗がん剤	2時間		腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。 																																																	



腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。



治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	食欲不振・吐き気																													
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	下痢																													
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																												
自覚症状	手足のしびれ																													
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																												
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																													
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
検査値	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを中心しましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
検査値	血小板減少																													
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												
	腎機能低下																													
		顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																												



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。



【CDDP+CPT11療法について】 (シスプラチン+イリノテカン)



ID:

様

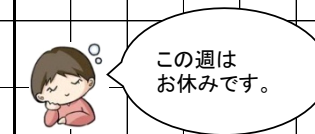
1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
KCL注 硫酸Mg注	副作用予防	1時間																													
アロカリス注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																													
パロノセトロン注 デキサート注																															
イリノテカン注	抗がん剤	1時間30分																													
マンニトール注	利尿剤	30分																													
シスプラチン注	抗がん剤	1時間30分																													



腎臓を保護するため、たくさんの輸液を点滴します。無理のない程度に水分補給をして、頻繁に尿を出しましょう。



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
自覚症状	食欲不振・吐き気																														
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																													
	下痢																														
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																													
	手足のしびれ																														
		手足のしびれ、感覚が鈍などの症状が出ることがあります。																													
検査値	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																														
		髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																													
	白血球減少																														
		感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																													
	赤血球減少(貧血)																														
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																													
検査値	血小板減少																														
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																													
	腎機能低下																														
		顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																													



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部